



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社フーバーブレイン 上場取引所 東
コード番号 3927 URL <https://www.fuva-brain.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 輿水 英行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石井 雅之 TEL 03-5210-3061
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	742	32.5	3	△86.3	12	△21.2	3	△52.1
2023年3月期第1四半期	560	47.4	26	-	15	-	7	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 6百万円 (△40.1%) 2023年3月期第1四半期 10百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.65	0.65
2023年3月期第1四半期	1.35	1.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,634	1,354	36.3
2023年3月期	3,226	1,430	43.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,320百万円 2023年3月期 1,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,400	45.4	200	241.0
	～ 3,700	～ 58.2	～ 300	～ 411.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	5,600,200株	2023年3月期	5,600,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	373,362株	2023年3月期	261,362株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,305,343株	2023年3月期1Q	5,338,838株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（2024年3月期の連結業績予想について）

当社グループが属する業界及び今般の外部環境変化の速さを勘案し、レンジ形式にて通期売上高及び営業利益の連結業績予想値を開示しております。経常利益以下の各利益については、当社グループの事業構成の多様化も踏まえた機動的な事業展開を実施する観点から、今後の営業外収益または費用等の適正かつ合理的な数値の見積もりは困難であるため、算出しておりません。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)は、2025年3月期に連結営業利益5億円達成を業績目標に掲げ、「情報の活用」及び「セキュリティ+α」を事業方針とした「ITツール事業」及び「ITサービス事業」を展開しております。

各事業の営業活動については、ITツール事業において、営業拠点及び隣接地域への積極的な販路拡大を見据えた面開拓戦略を継続し、ITサービス事業においては、パートナー企業との連携強化による事業拡大の営業戦略を展開しております。

当該業績目標、事業方針及び営業戦略のもと、①販路の拡大、②収益構造における事業の多様化、③新製商品及び新規事業の企画開発を当社グループの対処すべき課題として認識し、さらなる成長の実現に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、ITツール事業のセキュリティツールにおける「Cato SASE Cloud(ケイトサシークラウド)」及び働き方改革ツールの働き方改革支援製品「Eye“247” Work Smart Cloud(アイ・トゥエンティフォー/セブン ワークスマート クラウド)」のサブスクリプション型の製商品が引き続き受注並びに新規導入が伸びており、売上高はそれぞれ四半期会計期間の過去最高を更新しております。一方、セキュリティツール当社従前製商品群については、前年同期における半導体不足による複合機等のOA機器商材の品不足という特殊要因により、当社製商品の引き合いが増加し、前年同期の売上実績が平年に比べ拡大しておりました。当第1四半期連結累計期間においては、当社従前製商品群の売上高は前年同期に比べ減少しておりますが、販売代理店網の拡大により特殊要因のない前々年同期を上回る実績となりました。

ITサービス事業においては、連結子会社GHIインテグレーション株式会社(以下、「GHI」という。)のITエンジニア人材(以下、「IT人材」という。)に対する需要は高い状態が続いており、GHIの売上高も、子会社化後の四半期会計期間の過去最高を更新しております。引き続き、国内外での積極的な採用活動により、需要に応えられるIT人材の確保に努めております。

採用支援・人材紹介を提供する連結子会社株式会社アド・トップ(以下、「アド・トップ」という。)については、新型コロナ禍からの経済正常化に伴う求人需要が回復傾向にあるものの、新型コロナ禍に陥った赤字体質からの脱却に集中して取り組んでおります。

以上の取り組みの結果、ITツール事業のサブスクリプション型製商品及びITサービス事業GHIを中心とした売上高の拡大により当第1四半期連結累計期間の売上高は742,602千円(前年同期比132.5%)となりました。しかし、仕入商材の販売増加に伴う売上高の製商品の構成変化及びアド・トップが業績改善過程にあること等により、営業利益は3,663千円(前年同期比13.7%)となりました。一方、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益は、外貨建預金等に係る為替差益8,829千円を計上したことにより、経常利益12,377千円(前年同期比78.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,472千円(前年同期比47.9%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ITツール事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は425,323千円(前年同期比111.0%)、セグメント利益は51,036千円(前年同期比73.7%)となりました。

(ITサービス事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は317,278千円(前年同期比178.8%)、セグメント利益は27,920千円(前年同期比97.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ407,160千円増加し、3,634,141千円となりました。これは主に、長期前払費用が369,805千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計の額は、前連結会計年度末に比べ482,959千円増加し、2,279,258千円となりました。これは主に、前受金が231,078千円及び長期前受金224,352千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ75,799千円減少し、1,354,883千円となりました。これは主に、自己株式の取得により自己株式が81,995千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月15日付公表「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,633	1,270,585
受取手形及び売掛金	284,951	232,418
原材料及び貯蔵品	54,479	35,182
前払費用	318,915	557,799
その他	1,710	4,212
流動資産合計	2,075,691	2,100,199
固定資産		
有形固定資産	23,296	23,894
無形固定資産		
のれん	221,463	215,557
その他	19,830	18,023
無形固定資産合計	241,294	233,580
投資その他の資産		
長期前払費用	626,910	996,716
その他	259,789	279,750
投資その他の資産合計	886,700	1,276,467
固定資産合計	1,151,290	1,533,942
資産合計	3,226,981	3,634,141
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,236	114,522
1年内返済予定の長期借入金	18,000	18,000
前受金	486,421	717,500
未払法人税等	19,712	10,679
引当金	12,200	9,983
その他	127,521	141,251
流動負債合計	751,092	1,011,936
固定負債		
長期借入金	66,000	61,500
退職給付に係る負債	29,543	30,429
資産除去債務	20,301	20,325
長期前受金	896,088	1,120,441
その他	33,273	34,625
固定負債合計	1,045,206	1,267,322
負債合計	1,796,299	2,279,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	796,631	796,631
資本剰余金	594,840	594,840
利益剰余金	12,192	15,665
自己株式	△10,272	△92,267
株主資本合計	1,393,391	1,314,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,239	4,908
繰延ヘッジ損益	-	804
その他の包括利益累計額合計	3,239	5,713
新株予約権	9,727	9,710
非支配株主持分	24,324	24,589
純資産合計	1,430,682	1,354,883
負債純資産合計	3,226,981	3,634,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	560,517	742,602
売上原価	319,319	474,567
売上総利益	241,198	268,034
販売費及び一般管理費	214,523	264,370
営業利益	26,675	3,663
営業外収益		
為替差益	-	8,829
協賛金収入	101	-
その他	-	210
営業外収益合計	101	9,040
営業外費用		
支払利息	-	79
為替差損	9,841	-
自己株式取得費用	-	245
その他	1,222	-
営業外費用合計	11,064	325
経常利益	15,712	12,377
特別利益		
新株予約権戻入益	34	138
特別利益合計	34	138
税金等調整前四半期純利益	15,747	12,515
法人税、住民税及び事業税	5,033	7,465
法人税等調整額	2,326	1,320
法人税等合計	7,359	8,785
四半期純利益	8,387	3,730
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,130	257
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,257	3,472

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,387	3,730
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,982	1,677
繰延ヘッジ損益	-	804
その他の包括利益合計	1,982	2,481
四半期包括利益	10,370	6,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,240	5,947
非支配株主に係る四半期包括利益	1,130	265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式112,000株の取得を行いました。この取得により、自己株式が81,995千円増加し、当第1四半期会計期間末において92,267千円となっております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2023年7月11日をもって終了しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益計算 書計上額(注2)
	ITツール事業	ITサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	383,032	177,485	560,517	-	560,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	5,800	5,800	△5,800	-
計	383,032	183,285	566,317	△5,800	560,517
セグメント利益	69,288	28,772	98,060	△71,385	26,675

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,385千円には、のれんの償却額△4,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,122千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益計算 書計上額(注2)
	ITツール事業	ITサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	425,323	317,278	742,602	-	742,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	11,774	11,858	△11,858	-
計	425,407	329,053	754,460	△11,858	742,602
セグメント利益	51,036	27,920	78,956	△75,292	3,663

(注) 1. セグメント利益の調整額△75,292千円には、のれんの償却額△4,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,029千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。